

～Tokyoと世界を結ぶ地下鉄～

浅草線の新型車両「5500形」 6月30日（土）デビュー！



東京都交通局では、平成30年6月30日（土）に、浅草線で20年ぶりの新車となる新型車両「5500形」の営業運転を開始するのでお知らせいたします。昨年12月に「都営フェスタ2017 in 浅草線」でお披露目の後、お客様に安全に安心してご利用いただくため、試運転や調整を重ねてまいりました。

今後順次、当局浅草線車両の全27編成を新型車両へ置き換えていきます。

羽田・成田両空港から都心方向へ、また浅草や銀座といった東京を代表する観光地へ向かう列車として、通勤や、国内外からの観光のお客様など、皆さまに快適にご利用いただける車両といたしましたので、ぜひご利用ください。

1 コンセプト

日本らしさとスピード感が伝わる車両

2 デザイン

（1）外観

国際的にも日本のイメージとして一般的で、かつ浅草線沿線とゆかりのある歌舞伎の隈取りを現代風にアレンジし、凛々しく躍動感あるデザイン

(2) 内装

和紙や寄せ小紋のほか、東京の伝統工芸品である江戸切子などの柄とともに、沿線由来のイラストを使用し、落ち着いた和の雰囲気の中にも遊び心がある空間デザイン

3 今回営業運転を開始する車両

- (1) 車両形式 5500形
- (2) 営業開始日 平成30年6月30日(土)
- (3) 編成数 1編成(8両)以降、順次導入予定
- (4) 製造会社 株式会社 総合車両製作所
- (5) 車両の特徴

① ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた「人にやさしい車両」

- ・車いすやベビーカー、大きな手荷物をお持ちのお客様にもご利用しやすいように、全ての車両に車いすスペースまたはフリースペースを設置
- ・ラッシュ時にスムーズな乗降ができるように、乗降口脇のスペースを拡大
- ・吊手や手すりの数を充実 低い吊手、低い荷物棚の設置
- ・万が一挟まっても、引き抜きやすいドア



② 快適な車内空間

- ・座席の幅を拡大、大型化した見通しの良い袖仕切りの採用
- ・冷房能力の強化、空気清浄機能の採用 快適な車内空間が可能に
- ・多言語対応2画面液晶モニターを設置 訪日外国人の方へも充実した案内を提供
- ・防犯カメラの設置



③ 環境性能・インテリア

- ・全照明にLEDを採用
- ・次世代半導体素子 SiC※1 を採用したVVVF制御※2 装置の採用により環境負荷を低減
- ・オイルフリーコンプレッサ

※1 SiC: 炭化ケイ素(SiC シリコンカーバイド)を用いる半導体デバイスで、従来から用いられてきたSi(シリコン)に比べて低損失・高温動作が特徴

※2 VVVF制御: 可変電圧・可変周波数制御: 直流の電流をインバーター装置で交流に変換し、構造が簡略で高出力な交流モーターで電車を走らせる仕組み

- 東京の伝統工芸や沿線由来のイラストを使用した、落ち着いた和の雰囲気の中にも遊び心があるインテリアを使用



(参考) 浅草線について

昭和 35 年 12 月 4 日に、都営初の地下鉄として、浅草橋～押上間で開業しました。当時、日本で初めて、地下鉄と私鉄との相互直通運転を実施するとともに、地下鉄建設として初めて大河川（隅田川）を横断する画期的な工事を実施しました。昭和 43 年 11 月 15 日に西馬込まで全通してから、今年で 50 周年となります。

現在、京成電鉄、京急電鉄、北総鉄道、芝山鉄道の 4 社と相互直通運転を行い、今年は京成電鉄～都営交通～京急電鉄と相互直通運転開始 50 周年となります。

なお、浅草線の日あたりの乗車人員は約 72 万人※です。 ※平成 28 年度



YouTube 都営交通公式チャンネルにて、5500 形の営業運転開始を記念し、期間限定で（本日から 8 月 22 日まで）

「KABUKI UNDERGROUND」を放映します。

詳細は別紙をご覧ください。

なお、新宿線・大江戸線の車内液晶モニター「チカッ都ビジョン」などでも放映します。



「2020 年に向けた実行プラン」事業

本件は、「2020 年に向けた実行プラン」に係る事業です。

「ダイバーシティ 政策の柱 6 誰もが優しさを感じられるまち」

お問い合わせ先

都営交通お客様センター 03-3816-5700（年中無休、9時から20時まで）